

第2節 市民参加・情報共有

(1) これまでの主な取組

- ・ 市民の審議会委員の公募や「絆」ミーティングの開催等、市民が市政に参加する機会を確保しました。また、U-29(ユニーク)な市民参加推進事業を開催し、若者世代の市民参加の取組を実施しました。
- ・ 積極的なパブリシティ活動を展開しました。また、近年の動向に着目し、分類化したSNSによる細やかな情報発信に努めました。
- ・ 所沢市市民意識調査をはじめとした各種アンケートや「市長への手紙」などの仕組みを通じて、市民の意見や要望を市政に反映するよう努めました。

(2) 課題

- ・ デジタルを活用した新しい市民参加の仕組みを検討していく必要があります。また、若年層の市民参加の仕組みや機会の創出に努めていく必要があります。
- ・ 市政情報発信に際しては、対象者像に基づいた効果的なメディア選択が求められます。また、誰でも分かりやすい情報発信となるよう、アクセシビリティの向上に継続して努めていく必要があります。
- ・ 所沢市市民意識調査等のアンケート調査においては、調査結果を市の施策や事業設計等に継続して活用していく必要があります。
- ・ 期日前投票所の増設等について検討する必要があります。

(3) 評価指標

指標名	単位	現状	目標
市の情報発信に対する満足度	%	R5	R10
		56.6	70.0
説明	市政情報が分かりやすいか、十分に提供されているかを測る指標です。 数値は、所沢市市民意識調査の設問「所沢市では、広報ところざわ(「翔びたつひろば」含む)、市ホームページ、ケーブルテレビ、メールマガジン、市公式SNSなどで市政情報をお届けしていますが、あなたはこれらの媒体から必要な情報を得られていると感じますか」に対し、「十分感じる」「まあまあ感じる」と回答した人の割合です。		
目標	令和10年度までに70.0%以上をめざすものです。		